244.1, 252.0, 258.1, 262.0, 264.5, 267.3°K であり, の 雲頂高度と 日本付近に 近づいたときのそれとでは 約1.5 km くらいの差がある.

温度と水蒸気量以外は、まだ十分な精度のグランドトルースが得られていないことなどもあって、ここではそれらの詳しい精度評価ができなかった。データの利用の問題とともに今後の課題としたい.

文 献

- 青木忠生,中島 忍,加藤一靖,1981:極軌道気象 衛星 (TIROS-N) データ処理システム, 天気, 28,531-542.
- Aoki, T., 1982 a: An improved method to retrieve the clear radiance from partially cloudy spots

- of radiometer on board satellite, J. Met. Soc. Japan, 60, 758-764.
- , 1982 b: Theoretical background of the vertical sounding from TIROS-N satellite series, Met. Satellite Center Tech. Note, No. 5, 25-32.
- ———, S. Nakajima and K. Kato, 1982: Remote measurements of the sea surface temperature by multichannel observation from orbital satellite, J. Met. Soc. Japan, 60 (to be published).
- Smith, W.L., F. W. Nagle, C.M. Haydon and H.M. Woolf, 1981: Vertical mass and moisture structure from TIROS-N, Bull. Amer. Met. Soc., 62, 388-393.

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開催年月日	主催団体等	場 所
月例会「長期予報・大気 大循環」	昭和58年2月25日		気象庁内
日本気象学会昭和58年春 季大会	昭和58年 5 月18日~20日	日本気象学会	筑波研究交流センター
第20回理工学における同 位元素研究発表会	昭和58年7月4日~6日		国立教育会館
第 2 回統計気候学国際会 議	1983年9月26日~30日	WMO きか	ポルトガル・リスボン